

## めざす姿

公共事業の実施プロセスの公正性・透明性を確保し、事業を適正に実施することにより、県民の公共事業への信頼感が向上していることをめざします。

## 現状と課題

- 公共事業評価について、適正に運用を図ることにより、公共事業の実施プロセスの透明性を向上させてきました。今後も、公共事業を取り巻く環境等の変化に対応しながら、評価の内容を見直していくとともに、電子調達システムをはじめとするCALS/EC（公共事業の情報化）をさらに進めることにより、公共事業を適正に実施していくことが求められています。
- 入札契約制度については、公共工事の品質を確保し、意欲と技術力があり、地域・社会に貢献している優良な企業が受注できるようにするとともに、総合評価の客観性・公平性を確保しながら取り組む必要があります。また、公共工事が減少し地域の建設業の疲弊が進む中、工事の品質低下や災害時の緊急対応が課題となっています。

## 変革の視点

これまで、公共事業評価制度の適切な運用、入札契約制度の見直し、入札情報の電子提供など公共事業の実施プロセスの改善を進めてきたところですが、これらの取組に加えて、災害時の緊急対応、地域雇用を支える地域企業の育成を図る取組を進めます。

## 平成 27 年度末での到達目標

これまで進めてきた公共事業の再評価、事後評価の適切な実施、事業情報の県民への提供と有効活用等を進める取組に加え、地域の建設業者の地域・社会貢献の取組などを総合的に評価し、優良な企業が受注できるような入札制度の運用等に取り組むことにより、公共事業が適正に運営されていることをめざします。

県民指標			
目標項目	現状値	目標値	目標項目の説明
公共事業への信頼度	92.8% (22 年度)	96.3%	公共事業評価制度において、「三重県公共事業評価審査委員会」で審査を受け妥当とされた割合と総合評価方式の入札において、地域・社会貢献の取組実績がある企業が受注した件数の割合の平均値

## 平成 24 年度を取組方向

- ① 公共事業評価については、費用対効果だけでなく地域の実情を加味した総合的な内容となるよう評価を実施し、適正に事業を実施していきます。CALS/ECについては、蓄積された事業情報の県民への提供や有効活用等に取り組むとともに、各種システムによる事業の効率化を進めます。
- ② 入札契約制度については、公共工事の公正性・透明性・競争性の確保に引き続き取り組むとともに、総合評価の客観性、公平性を確保し、地域・社会に貢献している優良な企業が受注できるように、制度の改善と適切な運用に取り組みます。また、災害時の緊急対応や地域雇用の確保等のため、技術力を持ち地域に貢献できる建設業の育成に取り組めます。

## 主な事業

### ① 公共事業評価システム事業（県土整備部）

【基本事業名：40801 公共事業の適正な執行・管理】

予算額：(23) 8,715千円 → (24) 13,659千円

事業概要：公共事業の効率的・効果的な実施と、実施過程の透明性の向上のため、評価システムの見直しを行い、適切な運用を図ります。

### ② 公共工事総合評価方式運用事業（県土整備部）

【基本事業名：40802 公共事業を推進するための体制づくり】

予算額：(23) 3,944千円 → (24) 3,792千円

事業概要：総合評価方式の試行結果の検証やアンケート調査をもとに、外部有識者で構成する三重県公共工事等総合評価意見聴取会の意見もふまえ、総合評価方式の一層の公正性、透明性の確保と公共工事の品質確保に向けた取組を進めます。

### ③ 建設業経営多角化支援事業（県土整備部）

【基本事業名：40802 公共事業を推進するための体制づくり】

予算額：(23) 3,216千円 → (24) 3,299千円

事業概要：「技術力を持ち地域に貢献する建設業」の育成をめざし、建設業の経営多角化等の支援を行うなど、地域建設業の経営強化に取り組めます。